

504 林業大学校における学生満足度の規定要因
—京都府立林業大学校を事例に—

小川高広（名大農）

本研究では林業教育の質と関係性の高い学生満足度に焦点をあて、その規定要因を検証した。卒業する 2 年生に質問紙調査を実施し、クロス集計を行った。その結果、次の 3 点が明らかになった。1. 学生の 6 割が教育・カリキュラムに満足していた。満足度が高い学生は教員の熱心さを実感している、教務等の事務に満足している、辞めたいと考えたことがない、働く経験がしたい、母校のことが好きだと考える等の特徴が見られた。2. 林業に直接関係しない情報リテラシーの知識やスキルが向上したと考える学生は教育・カリキュラムへの満足度が高かった。3. 過去の林業学習経験（林業系高校出身等）と満足度の関係性は見られなかった。以上の結果から教職員と学生との良好な関係や林業以外の知識・スキルの向上等が満足度に関係していることが明らかになった。満足度の向上には教職員と学生間の信頼関係構築や林業に直接関係しない教育の充実が重要だといえる。

KEYWORD : 林業教育, 林業大学校, 学生満足度